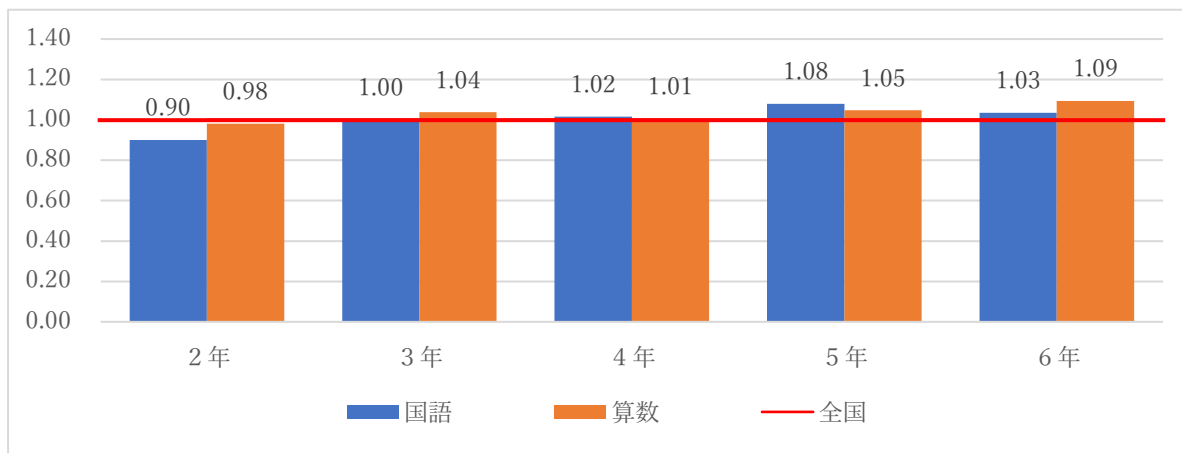


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第九中学校区 成美小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	5年生では、全ての観点で全国比+6ポイント以上となっている。しかし、他学年では、基礎力に課題があるので、漢字の定着など日々の学習にしっかりと取り組んでいく必要がある。
	算数	5年生では、「思考・判断・表現」の観点は全国比+5ポイント以上、活用力は+6ポイント以上となっているが、基礎基本の定着に課題が見られる。他学年でも基礎力については課題であるため、問題練習の量を増やし、正確さを高めていく必要がある。
全国学力・学習状況調査	国語	「情報の扱いに関する事項」が全国比+5ポイントと高い。領域別では「話すこと・聞くこと」「読むこと」は全国比+3ポイントだが、「書くこと」は-1ポイントと課題がある。漢字の定着を図り、文章を書く機会を増やす必要がある。
	算数	領域別では「数と計算」「図形」は全国比+8ポイントと高く、「変化と関係」「データの活用」は+3ポイントであった。引き続き、基礎基本を大切にするとともに、活用問題にもしっかりと取り組んでいく。
	質問紙	全国平均に比べて、家庭学習など主体的に学習する児童の割合が少ない。また、学習した内容を次の学習につなげていくことがあまりできていない。児童が自主的、主体的に学ぶことができるように支援していく必要がある。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

話をしっかりと聞く力・自分の思いや考えを話す力を大切にして、ディベート教育、教科教育に取り組むとともに、論理的・客観的・多角的思考を培い、考える力の育成を進めている。

ねやがわスタンダードを基に、学習規律の徹底を校区教員で進め、小中9年間で児童・生徒の学習習慣の定着を図っている。また児童・生徒の主体性を伸ばすとともに、がんばっている姿・良いところを褒めて、自己肯定感を高めていく取組を進めている。

【 学 校 】

授業では基礎基本となる内容が中心になっている。各教科で児童一人ひとりが、何を理解できたか振り返り、意欲を持って、次の授業に臨んでいく姿勢を培えるように、ねやがわスタンダードの充実を図る。全学年で次の学年に未定着な内容を積み残さないように、授業を進めていく。